

当院の文献複写業務事情

島根県立中央病院 高橋 眞由美



文献複写とは

利用者の研究のために必要な資料の一部、雑誌に収録されている論文などを複写することであり、自館に所蔵していない資料については所蔵している館を探し、必要部分のコピーを取り寄せて利用者に提供する。

反対に、他館からも同じ事情で依頼が来るので、必要な複写を送付する。

このようにお互いに便宜を図りあうことからこの業務を「文献相互貸借」という。

文献複写 - 他館への「依頼」の作業の流れ

- 利用者からの申し込みの受付
- 自館での所蔵確認(自館でコピー)
- 中四国ネット目録・Webcat等で所蔵館確認
- 複写依頼申込書発行
- 所蔵館(受付館)がコピー、通知書(計算書)送付
- 文献到着
- 複写物・料金確認
- 利用者に到着通知
- 利用者へ文献の引渡しと料金受託
- 受付館へ送金

文献複写 - 他館からの「受付」の流れ

- 申込館からの申込書がFAXで到着
- 書誌事項・所蔵確認
- コピー
- 送付（複写物と料金通知書）
- 申込館からの料金受領・確認と入金処理

文献の所在を確かめる

- ネットワーク図書館の目録
(中四国ネット、近畿ネット、看護短大)
- Webcat(国立情報学研究所から学術研究のために利用される文献所在情報サービス)

文献複写業務に参加するために

- 一方的に依頼をするだけでなく、他館からの依頼にも応えたい



- 自館の目録の整備とネットワーク等への目録提出

中四国ネット

近畿病院図書室協議会

国立情報学研究所 (Webcatでおなじみ)

文献のやり取り(相互利用)をする機関

文献複写の申込(当院→他館)

中四国ネットワーク内図書室

地元図書館(島根大学、看護短大)

近畿病院図書室協議会加盟館

Webcat検索結果の病院図書室、大学図書館等

* 業者には頼んだことはない

文献複写の受付(他館→当院)

中四国ネットワーク内図書室

近畿病院図書室協議会加盟館

その他の病院図書室

まれに大学図書館、公共図書館

依頼者

- 医師
- 看護師
- コメディカル

☆ 当院の場合、依頼者の大部分は医師であり、論文作成・学会発表・診療のための文献を必要とされる

利用者用インターネットPC 4台

文献情報検索システム・・・ J-Dream, 医中誌web

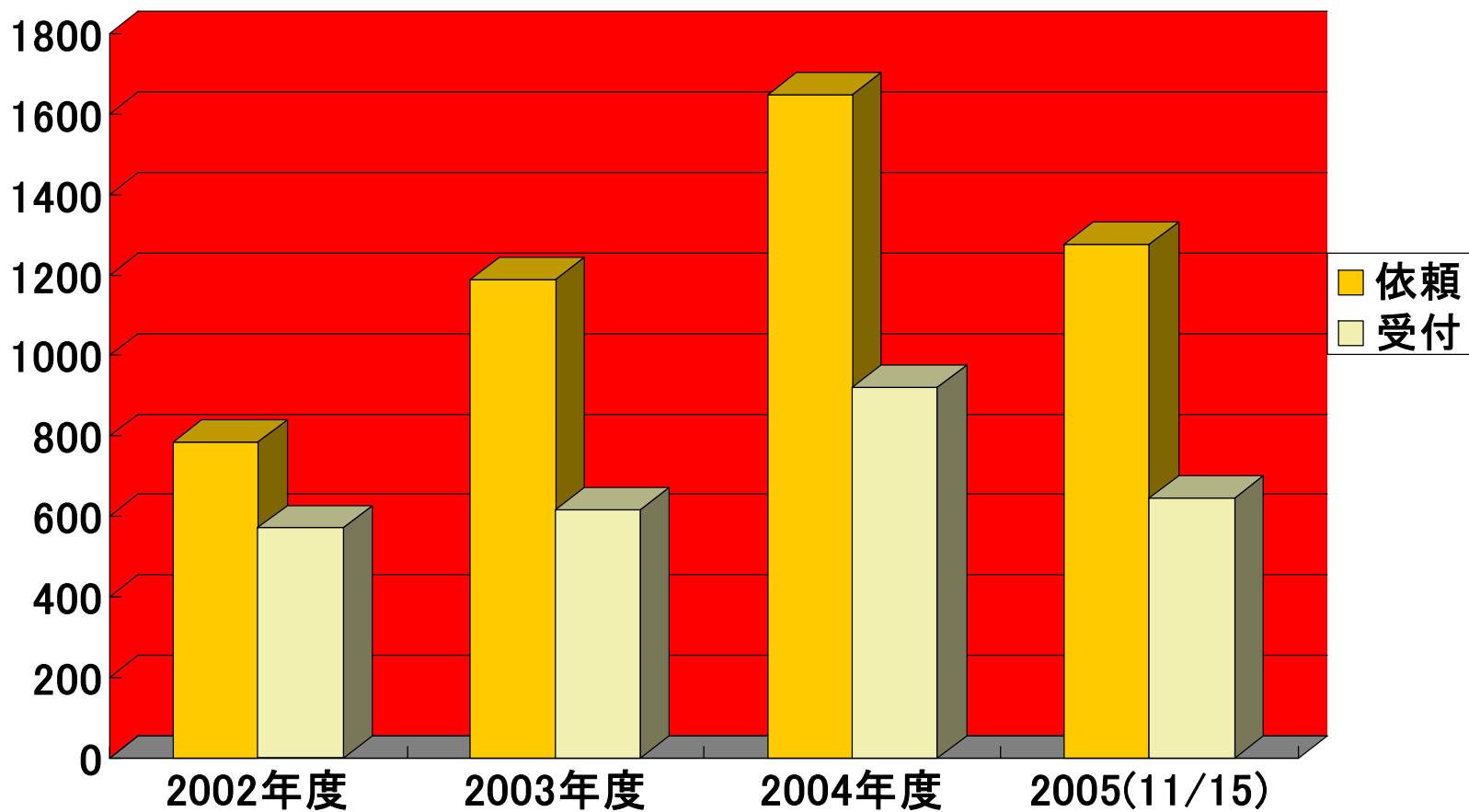


当院の現状

臨床研修指定病院で研修医の増加により依頼件数が毎年伸びている。



当院の文献複写件数の推移





問題点

- ▲臨床研修指定病院で研修医の増加により依頼件数が毎年伸びている。扱う件数によっては他の業務に影響がある。
- ▲論文の参考文献はデータに間違いが多く、検索をし直すことが多く時間を取られる。
- ▲Faxでの取り寄せを希望する利用者があるが受け付けてくれる館が限られるため苦慮する。



<医学図書館協会の理念>

- 文献の相互利用は機関会員の好意と

特典であるが権利ではない

相互利用活動を続けていくために、特定の機関に負担が集中しないよう基本ルールを守って節度ある文献利用を行うことが必要

お互い気持ちよく利用するために

○他館へ依頼を出すとき

- 一機関への依頼件数があまり多くなならないように考える
- 書誌事項は正確に記入する
- 期限付きの送付依頼は避ける
- 速やかに支払いをする

お互い気持ちよく利用するために

○他館から依頼を受付けるとき

- コピーをきれいにとる
- 速やかにコピーをして発送する





課題

△業務をこなすためのスキルを磨く

* 検索の技術（医中誌・J-Dream・PubMed
Google 等）

* フリージャーナルの活用方法

* Webcat の有効な利用方法

△情報収集、技術の習得のために各種講習会
への参加